

卒後に学ぶペリオII

—新進気鋭の専門医、ふたたび—

日時：平成29年2月26日(日)10:00～16:30
 会場：東京医科歯科大学歯科棟南4階特別講堂
 (東京医科歯科大学歯学部旧事務棟4階特別講堂)
 講師：住友商事株式会社歯科診療所所長
 東京医科歯科大学歯周病学分野非常勤講師
 小林 宏明 先生
 東京医科歯科大学歯周病学分野
 秋月 達也 先生

ホームページ申込み

振込用紙申込み

定員 160名

会費 A

医師・歯科医師：事前受付¥21,000 当日受付¥24,000

医師・歯科医師以外：事前受付¥15,000 当日受付¥17,000

思い通りに歯周病が治らず、日々の歯周治療に疑問を持っていませんか。実際に患者さんを担当するようになった今、もっと歯周治療のことを知りたいと感じていませんか。そんな若い歯科医師に向けて、大学歯周病教育に携わってきた歯周病専門医・指導医のお二人が、前回話しきれなかった内容も盛り込んで分かりやすく解説します。



アタッチメントロスの進行を食い止めるために。歯の喪失を防ぐために。歯周病の原因を見極めて、正しくアプローチすることで効果的な歯周治療を目指しましょう。

歯周外科手術を成功させるため、確実な骨欠損形態の診断をして、適応症が選択できますか。適切な切開の仕方がイメージできますか。歯肉を温存した剥離、確実な搔爬、緊密な縫合は、どうすればできるのでしょうか。

もう一度大学の先生の話聞いて、卒後に必要な歯周病の知識を整理してみましよう。

日々の疑問が解決できます。明日からの臨床が違って見えてくるはずです。

講演項目

- こんな質問に答えられますか？
 - むし歯のピークは6歳、25歳、70歳。歯周病のピークは？
 - 歯周病は遺伝するのか
 - 骨吸収を起こす習癖があるか
 - 本当にみんな歯を磨いているのか
 - 歯周病はどれくらい治るものなのか
 - 毎日歯を磨いているのに、なぜ歯周病になるのか
 - 歯根表面が無菌状態になれば治癒するのか？
 - LPSが悪者なのか
- 骨が溶ける仕組み
 - 5年前の常識は、今の常識ではない
 - 腫れている歯肉をみたときに考えること
 - 炎症の部位と骨の溶ける部位
 - 腫れるメカニズムと溶けるメカニズム
 - 免疫機能低下や機能亢進によるエラー
- 原因を正確に把握する
 - 歯垢と歯石が原因なのか
 - 盲孔をみおとさない
 - 舌癖をみおとさない
 - 口呼吸をみおとさない
 - 破折線なのか、排膿路なのか
 - 骨の退却経路から、疾患の進行を考える
 - セメント質剥離って知ってますか
- SRP
 - SRPの目的を整理する
 - きちんとスケーラーのエッジを出すために
 - SRPのスキルレベル
 - 局所麻酔剤はどう使うのか
 - 歯石に気づくために
 - その感覚はどうやって鍛えるか
 - エナメル質を滑沢にしていますか？
 - 手用スケーラーと超音波スケーラーの違い
- 歯周外科が有効であることのバックグラウンド
 - さらなるアタッチメントロスを起こさないために
 - SRPでポケットがどれくらい減少するのか
 - 論文から考察する
 - 外科をして始めてわかるSRPのスキルレベル
 - 外科 vs 非外科
 - アタッチメントゲインで比較する
- きれいなオペとはこういうものです
 - 確実な骨欠損形態の診断をするには？
 - 確実な切開とは？
 - 歯肉を温存した剥離をするために
 - 緊密な縫合をするには？
 - おすすめの外科器具
- オペ動画
 - 切開線的设计
 - 対象部位から1歯半離す
 - パピラブリザーションテクニック
 - 剥離
 - 剥離がダメだと歯間乳頭が無くなる
 - こうやると簡単、剥離できます
- これだけはやってはいけない